

トヨタ純正

プロテクションフィルム（ロッカー）


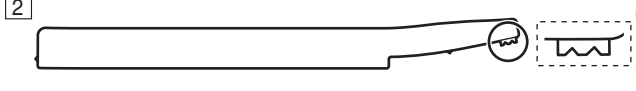


取付要領書

このたびはトヨタ純正プロテクションフィルム（ロッカー）をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書はプロテクションフィルム（ロッカー）の取付要領について記載してあります。
取付前には必ずお読みいただき、正しい取付を行ってください。

品番

08179-60040

構成部品

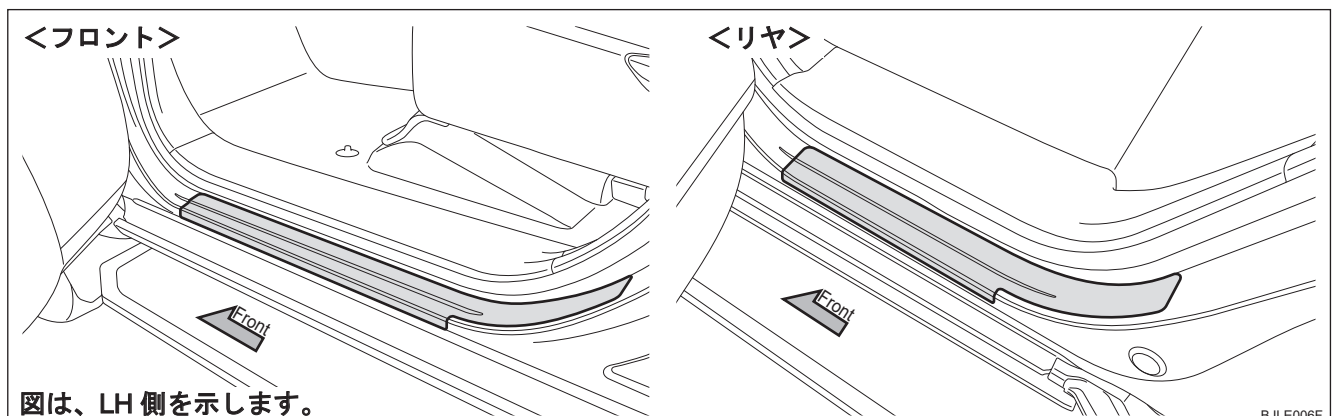
	No.	品名	個数
	①	プロテクションフィルム（ロッカー）FR, RH	1
	②	プロテクションフィルム（ロッカー）FR, LH	1
	③	プロテクションフィルム（ロッカー）RR, RH	1
	④	プロテクションフィルム（ロッカー）RR, LH	1

※イラスト内の○は識別位置、[]は識別形状を示しています。

補給品番

品名	品番	構成部品（各1個）
プロテクションフィルム（ロッカー）FR, RH	08179-60041	①
プロテクションフィルム（ロッカー）FR, LH	08179-60042	②
プロテクションフィルム（ロッカー）RR, RH	08179-60043	③
プロテクションフィルム（ロッカー）RR, LH	08179-60044	④

取付概要



取り付け上の注意事項

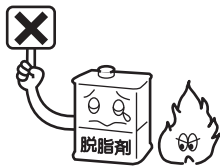
この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

注意 … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています

アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

取り付ける前に

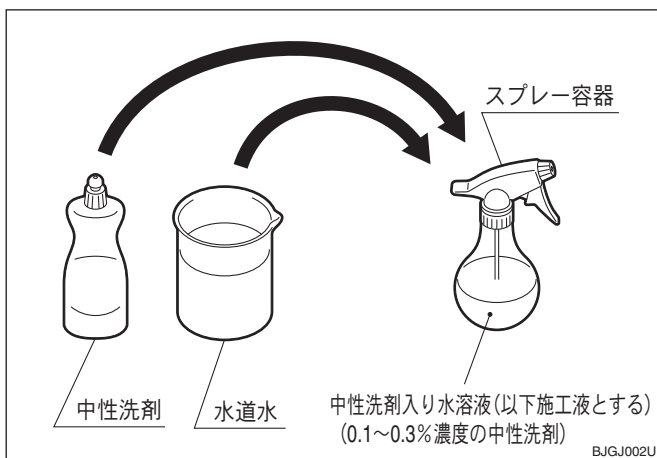
- ・プロテクションフィルム（ロッカー）（以下フィルム）の取り付け作業時には、車両部品に傷を付けないよう充分注意してください。
- ・冬季及び寒冷地（環境温度15℃以下）では、粘着力が低下しますので、フィルム取付面をドライヤー等で温めて取り付けてください。
フィルム自体を温めると変形する恐れがありますので、行わないでください。
- ・ほこりのたたない場所で作業を行ってください。
- ・脱脂剤等を使用する際は、火気に充分注意してください。
- ・フィルムの粘着面に触れる際は、指に中性洗剤入り水溶液（以下、施工液）を塗布してください。



取り付けに必要な工具等

中性洗剤（推奨：界面活性剤約30～35%）、柔らかい布、水、脱脂剤等【イソプロピルアルコール（IPA）純度100%推奨】、スプレー容器、ライト、スケール、メジャー、ドライヤー（外気温が15℃以下の場合）、マスキングテープ、スキージ、布（ナイロン系）

取り付け前の準備



施工液の準備

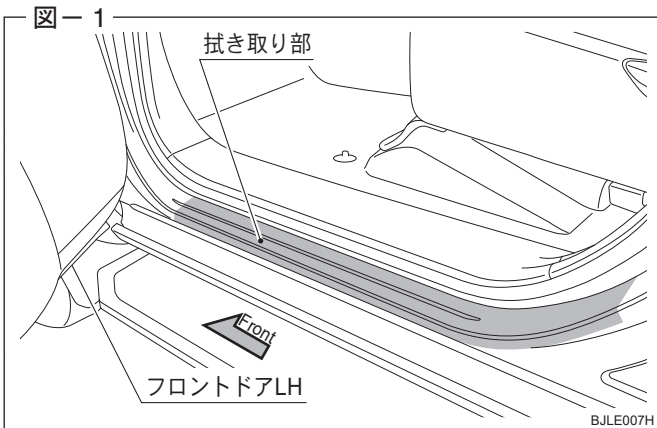
1. 中性洗剤を水道水で0.1～0.3%に薄め、スプレー容器に入れる。

アドバイス


- ・界面活性剤30～35%の中性洗剤を使用した場合の濃度です。
- ・界面活性剤の濃度が異なる場合は施工液の濃度が変わります。

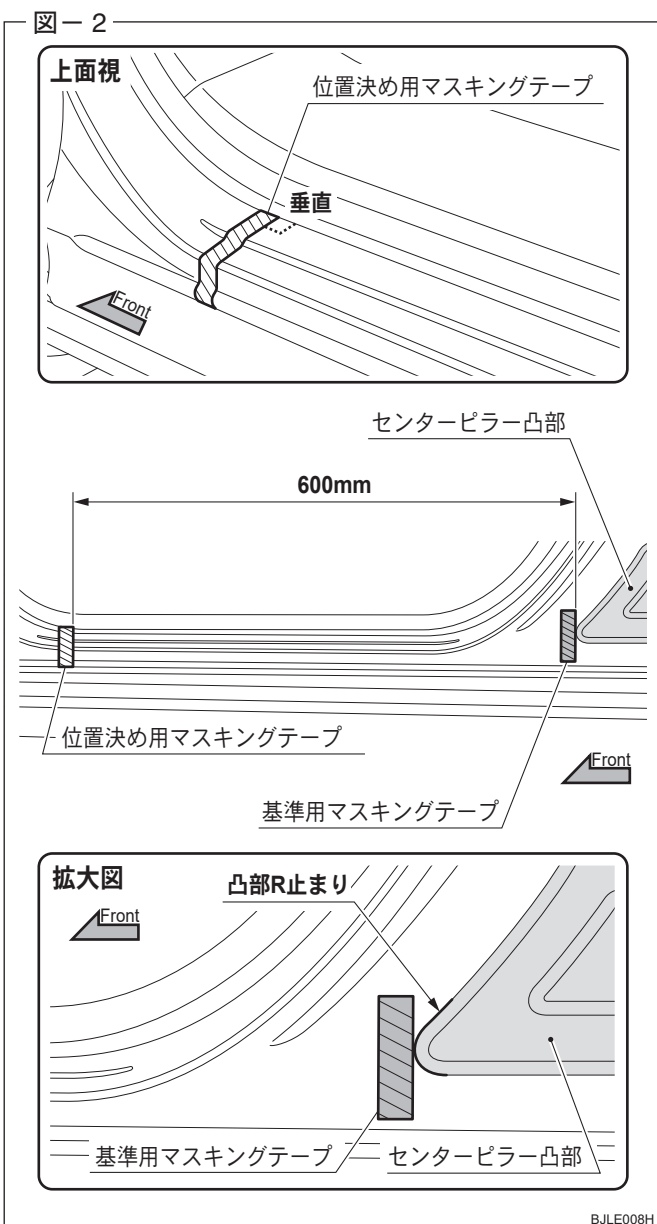
本書では、LH 側の場合の取付要領を記載しています。RH 側についても LH 側と同様の作業を行ってください。

取付要領 フィルム（ロッカー）FR, LH の取り付け



取り付け面の拭き取り

1. フロントドア LH を開け、フィルム取り付け面（部）の汚れ、油分や水分を脱脂剤等で確実に拭き取る。（図-1 参照）



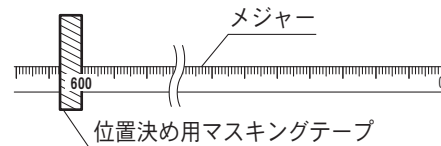
フィルム（ロッカー）FR, LH の位置決め

1. センターピラー凸部の R 止まりの位置に基準用マスキングテープ、**600mm** の位置に位置決め用マスキングテープを貼り付ける。この時、位置決め用マスキングテープを上側まで伸ばして貼り付ける。（図-2 参照）

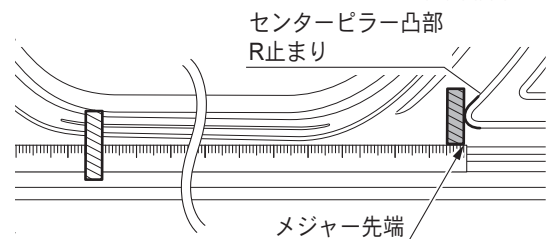
アドバイス

正しい位置決めをするために、以下の要領で位置決め用マスキングテープの貼り付けをしてください。

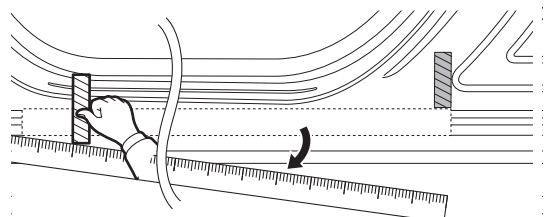
- (1) メジャーの **600mm** 位置に位置決め用マスキングテープを貼り付ける。

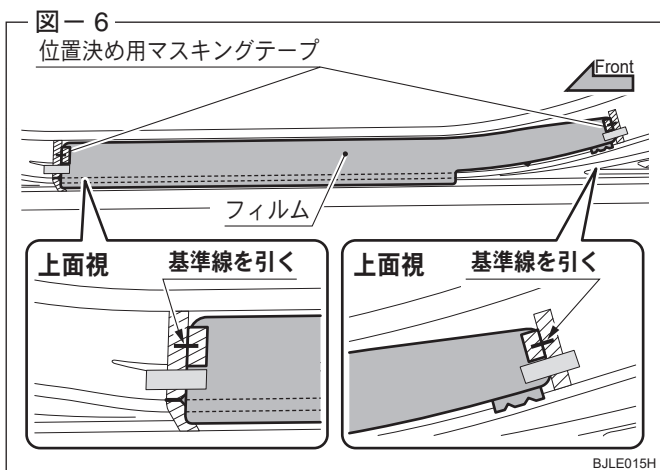
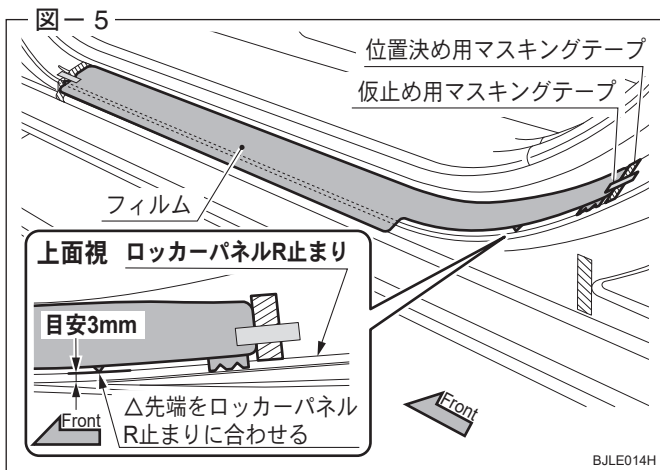
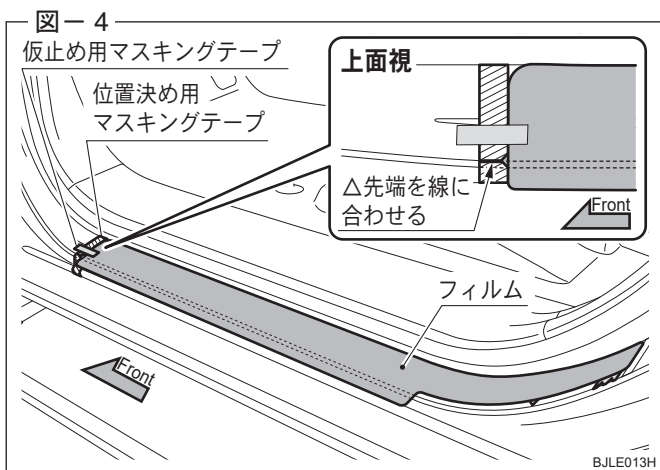
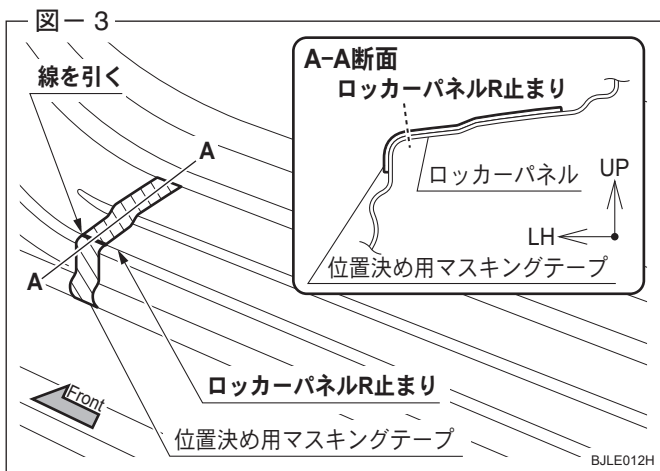


- (2) センターピラー凸部の R 止まりにメジャーの先端を合わせる。



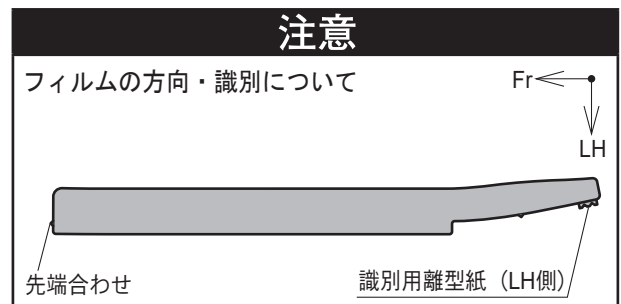
- (3) (1) の位置決め用マスキングテープ中心部を押さえながらメジャーをはずし、車両に位置決め用マスキングテープを貼り付ける。





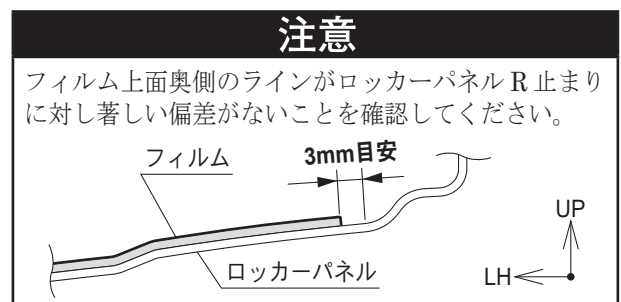
2. 1. で貼った位置決め用マスキングテープのロッカーパネル R 止まり (A-A 断面) に合わせて線を引く。(図-3 参照)

3. フィルムの前端を位置決め用マスキングテープ後端に突き合わせて、仮止め用マスキングテープで仮止める。この時、フィルムの△先端を位置決め用マスキングテープの線に合わせる。(図-4 参照)

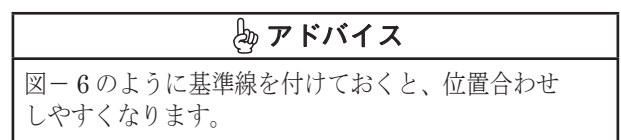


4. フィルムの△先端をロッカーパネル R 止まりに合わせて、フィルム後端に位置決め用マスキングテープを貼り付ける。

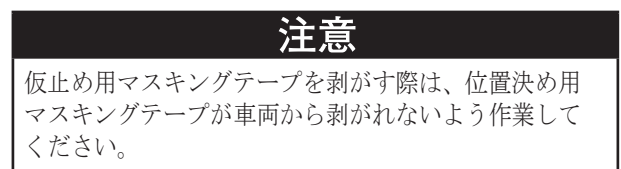
5. フィルムの後端を仮止め用マスキングテープで仮止める。(図-5 参照)

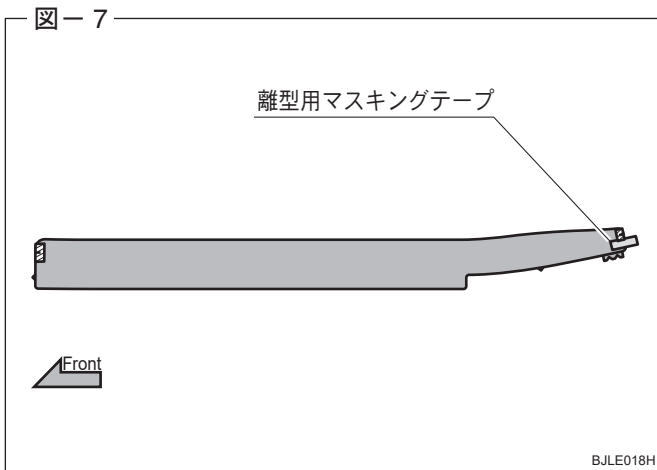


6. 仮止めたフィルムの上に位置決め用マスキングテープを貼り、先に貼った位置決め用マスキングテープと共に一本の基準線を引く。(車両前方、後方共に行う。)(図-6 参照)



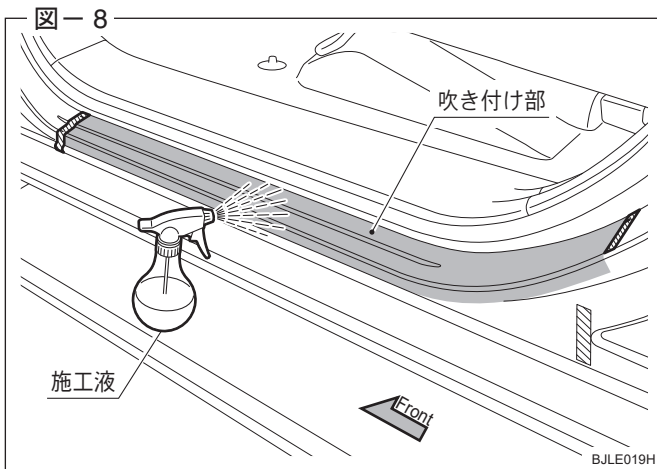
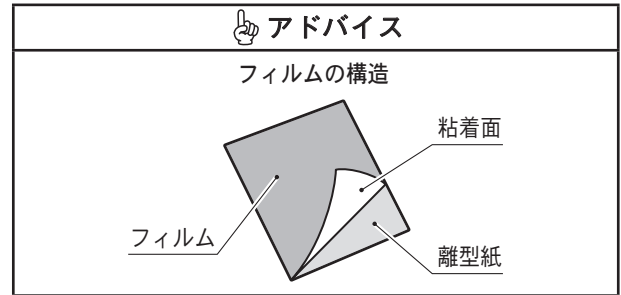
7. 仮止め用マスキングテープを剥がし、フィルムをはずす。




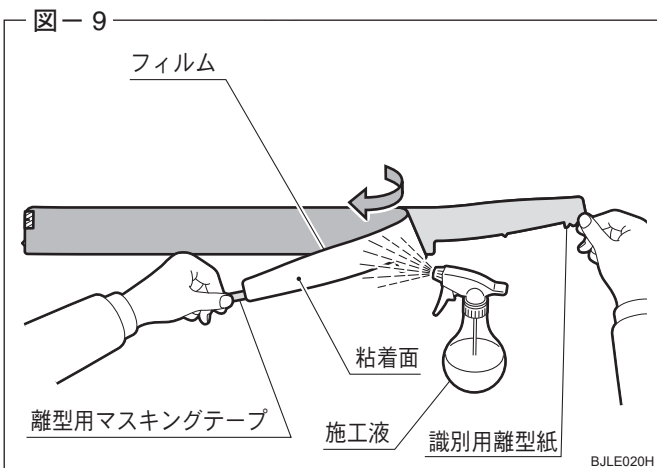


フィルム（ロッカー）FR, LH の貼り付け

1. フィルムに離型用マスキングテープを貼り付ける。
(図-7 参照)



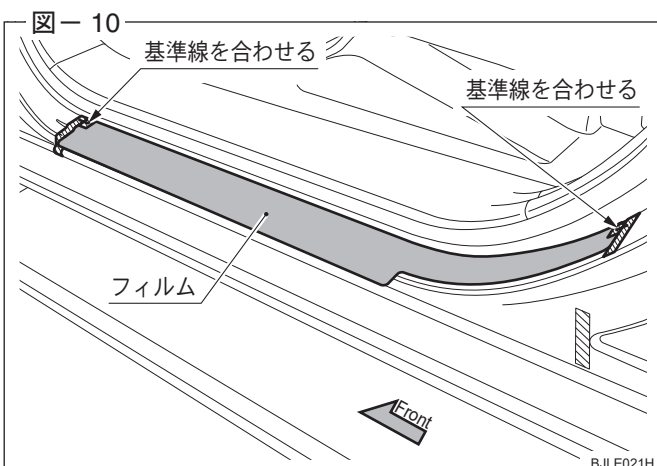
2. フィルムの貼り付け面（部）に施工液を吹き付ける。
(図-8 参照)



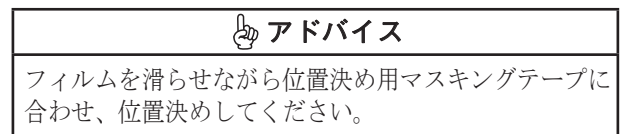
3. 離型用マスキングテープと識別用離型紙を持ちながら、フィルムを離型紙から剥がし、粘着面全面に施工液を吹き付ける。
(図-9 参照)

注意

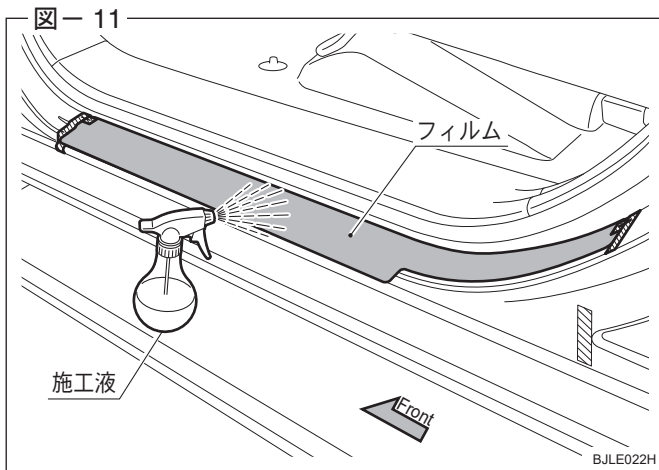
離型紙を剥がす際は、フィルム粘着面に触れないよう作業を行ってください。
触れると粘着力が弱くなります。



4. フィルムにしわがよらないよう、位置決め用マスキングテープの基準線に合わせる。
(図-10 参照)



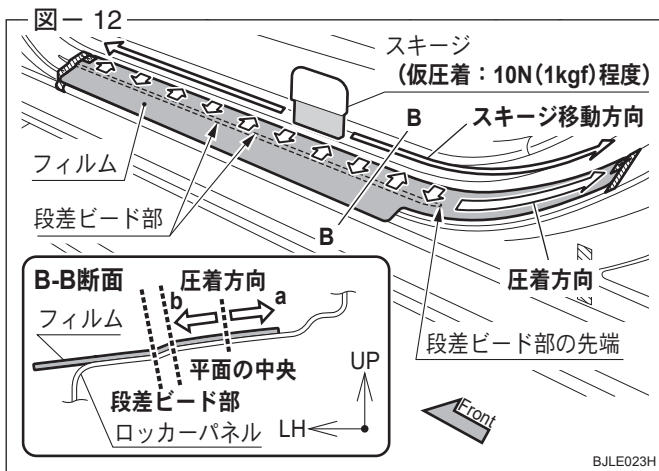
5. 1. でフィルムに貼り付けた離型用マスキングテープを剥がす。



6. フィルム表面の全面に施工液を（水溜りができない程度）まんべんなく吹き付け、スキージの滑りをよくする。
（図-11 参照）

👉 アドバイス

フィルム表面が乾いてきたら施工液を吹き付けてください。



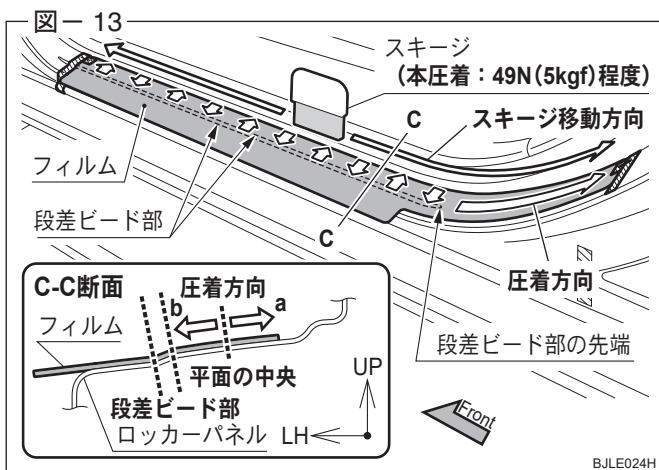
7. ロッカーパネル段差ビード上部（B-B断面）の平面の中央を境に、スキージで矢印 a、b の方向に仮圧着（推奨：10N（1kgf）程度）する。
その際、フィルム中央から左右方向に仮圧着する。
8. 段差ビード部の先端より車両後方側をスキージで矢印方向に仮圧着（推奨：10N（1kgf）程度）する。
（図-12 参照）

注意

フィルムがずれないように注意してください。
仮圧着の際は、スキージで段差ビード部より上側をまんべんなくフィルム端部まで圧着してください。

👉 アドバイス

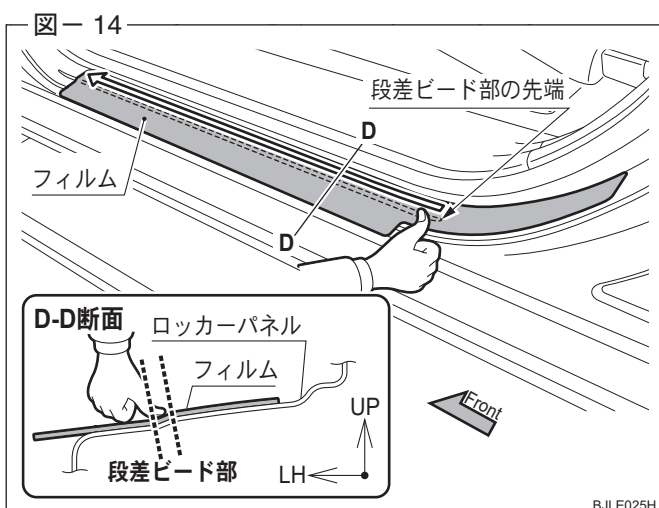
布（ナイロン系）をスキージの圧着部分に取り付けると、滑りがよくなります。



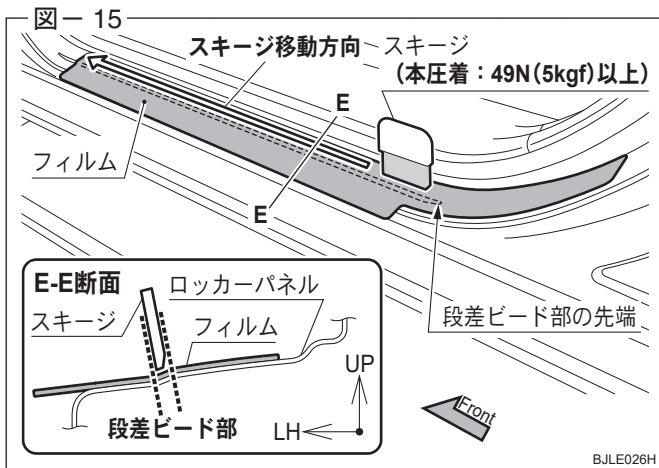
9. 仮圧着したフィルムがずれないように注意しながら、7. 及び 8. と同じ要領で本圧着（49N（5kgf）以上）する。
（図-13 参照）

注意

気泡・水泡の逆流を防ぐため、押し出した気泡・水泡はこまめに柔らかい布で取り除いてください。
また、柔らかい布でフィルム上面の施工液を拭き取り、ライトで水残り・気泡の確認を行ってください。



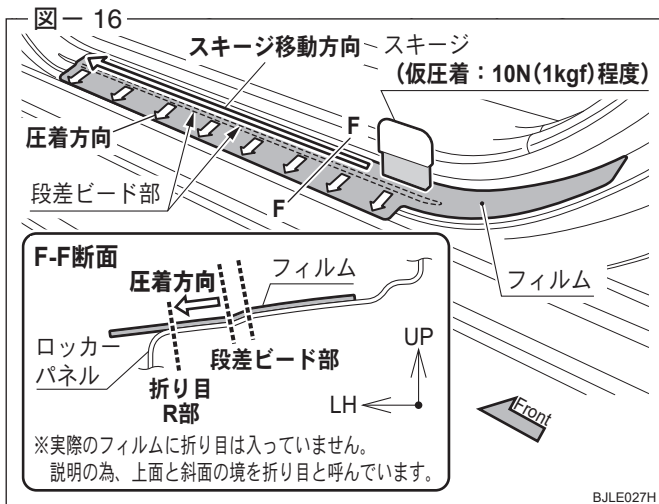
10. 全てのマスキングテープを剥がす。
11. 段差ビード部（D-D断面）の形状に合わせ、フィルムを軽く折り曲げてくせ付けする。
12. 段差ビード部の先端から左方向に、指でしっかり圧着する。
（図-14 参照）



13. E-E断面に従い、スキーの角度を段差ビード部の形状に合わせ、水泡・気泡が残らないようにするため、段差ビード部の先端から左方向にスキーで本圧着(49N(5kgf)以上)する。
(図-15参照)

注意

角部、段差ビード部は指やスキーで上から押し付け、気泡・水泡が残らないように、しっかりと圧着してください。



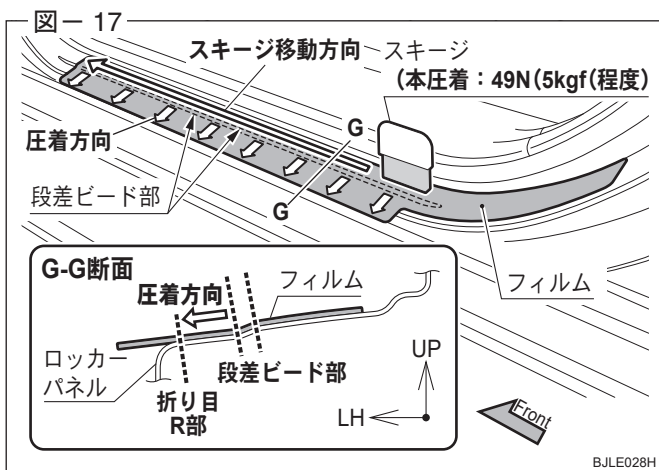
14. 段差ビード下部(F-F断面)を下方向に、折り目R部までスキーで仮圧着(推奨: 10N(1kgf)程度)する。
その際、段差ビード部の先端から左方向に仮圧着する。
(図-16参照)

注意

フィルムがずれないように注意してください。
仮圧着の際は、スキーで段差ビード部より下側をまんべんなくフィルム端部まで圧着してください。

アドバイス

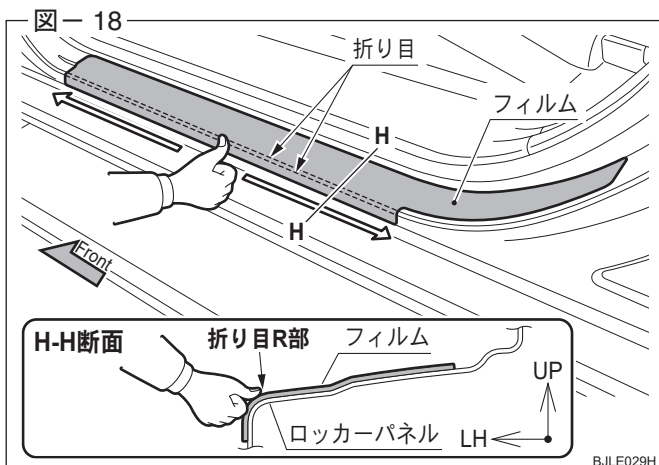
布(ナイロン系)をスキーの圧着部分に取り付けると、滑りがよくなります。



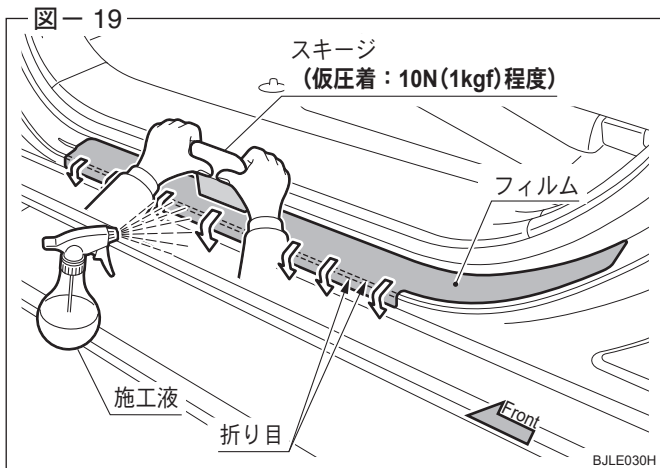
15. 仮圧着したフィルムがずれないように注意しながら、14.と同じ要領で本圧着(49N(5kgf)以上)する。
(図-17参照)

注意

- ・気泡・水泡の逆流を防ぐため、押し出した気泡・水泡はこまめに柔らかい布で取り除いてください。また、柔らかい布でフィルム上面の施工液を拭き取り、ライトで水残り・気泡の確認を行ってください。
- ・角部、段差ビード部は指やスキーで上から押し付け、気泡・水泡が残らないように、しっかりと圧着してください。



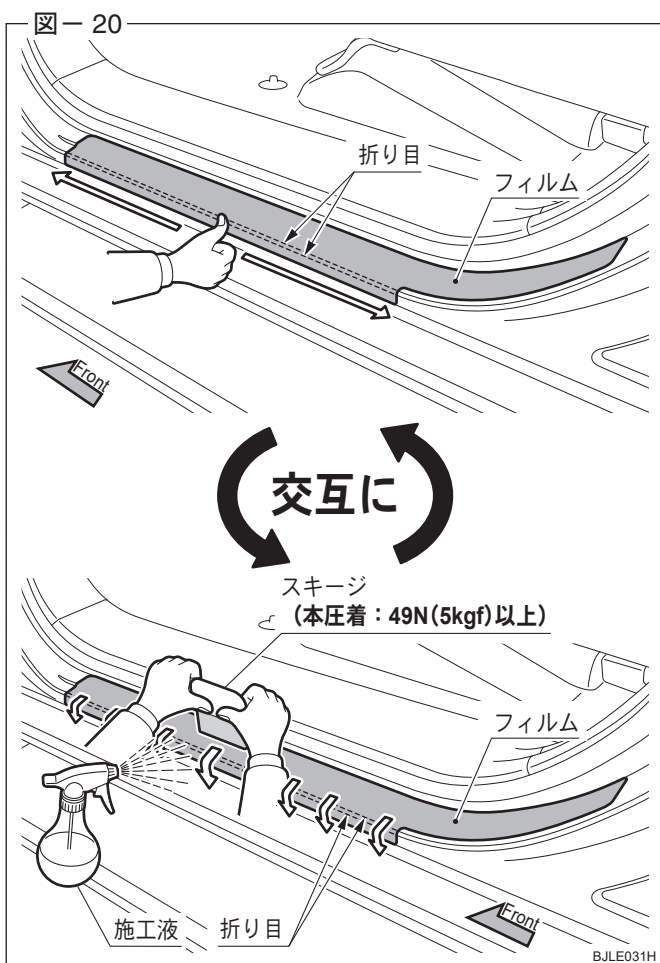
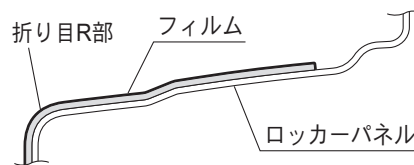
16. 折り目R部の形状に合わせ、フィルムを軽く折り曲げてくせ付けする。
17. 折り目R部(H-H断面)に水泡・気泡が残らないようにするため、フィルム中央から、折り目R部を左右方向に指でしっかりと圧着する。
(図-18参照)



18. フィルム表面の全面に施工液を（水溜りができない程度）まんべんなく吹き付ける。
19. 折り目をまたぐようにして、スキーを上から下へまんべんなく仮圧着（推奨：10N（1kgf）程度）する。人差し指でスキーを支えながら親指でスキーをロッカーパネルに押し当てるようにして、上から真下へ圧着する。（図-19 参照）

注意

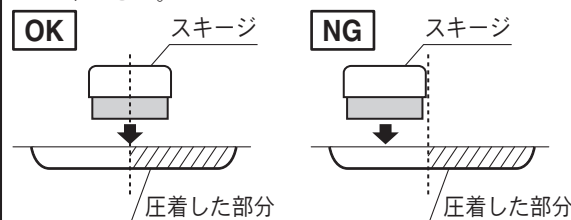
- ・ロッカーパネルからスキーが離れてしまうと気泡・水残りの原因になります。
- ・折り目 R 部は水泡・気泡が残りがちなので、まんべんなく圧着し、確実に水泡・気泡を押し出してください。



20. 17. と 19. の作業を交互に行う。（図-20 参照）

注意

水泡や気泡が残らないようにするため、必ず圧着した部分にスキーが重なるようにして、別の箇所も圧着してください。



👉 アドバイス

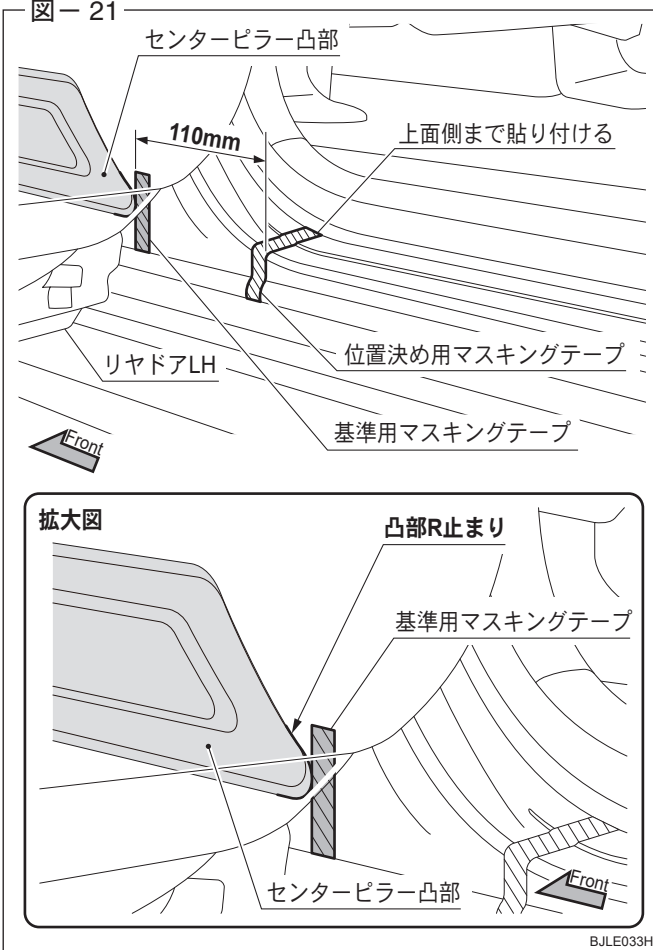
フィルム表面が乾いてきたら施工液を吹き付けてください。

21. フィルム全体を 49N（5kgf）以上で再度しっかりと本圧着する。
22. 再度、完全に水泡・気泡が抜けていることをライトで確認する。
23. ロッカーパネル及びフィルム表面を清掃する。

本書では、LH 側の場合の取付要領を記載しています。RH 側についても LH 側と同様の作業を行ってください。
フィルム位置決め以外の作業はフィルム（ロッカー）FR, LH と同様の手順で行ってください。

取付要領 フィルム（ロッカー）RR, LH の取り付け

図-21



BJLE033H

フィルム RR, LH の位置決め

1. センターピラー凸部の R 止まりの位置に基準用マスキングテープ、110mm の位置に位置決め用マスキングテープを貼り付ける。(2箇所)
この時、位置決め用マスキングテープを上側まで伸ばして貼り付ける。
(図-21 参照)

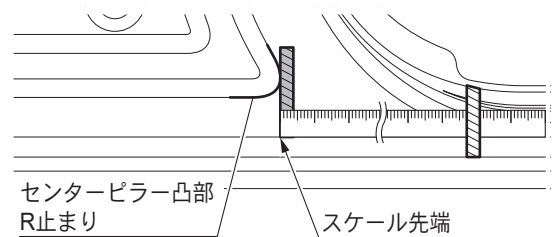
アドバイス

正しい位置決めをするために、以下の要領で位置決め用マスキングテープの貼り付けをしてください。

1. スケールの 110mm 位置に位置決め用マスキングテープを貼り付ける。



2. センターピラー凸部の R 止まりにスケールの先端を合わせる。



3. 1. の位置決め用マスキングテープ中心部を押さえながらスケールをはずし、車両に位置決め用マスキングテープを貼り付ける。

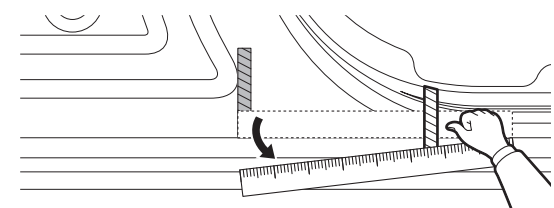
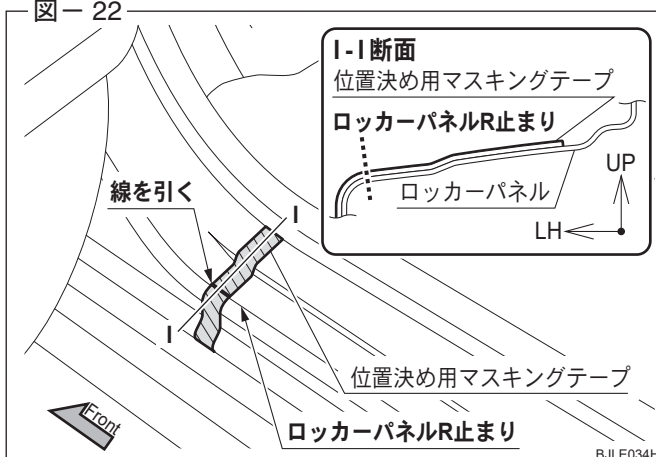
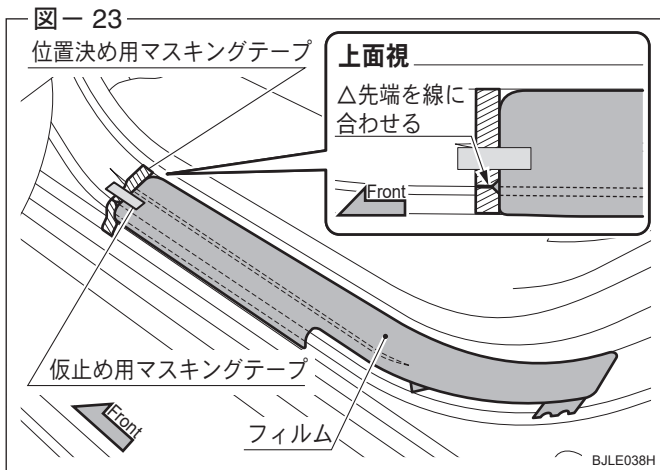


図-22

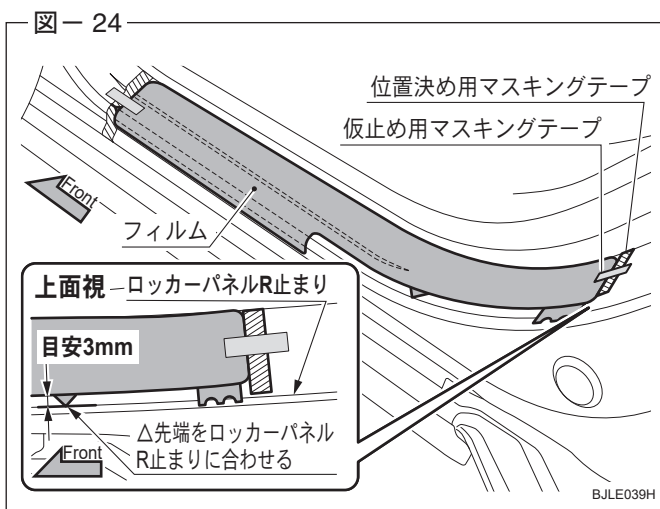
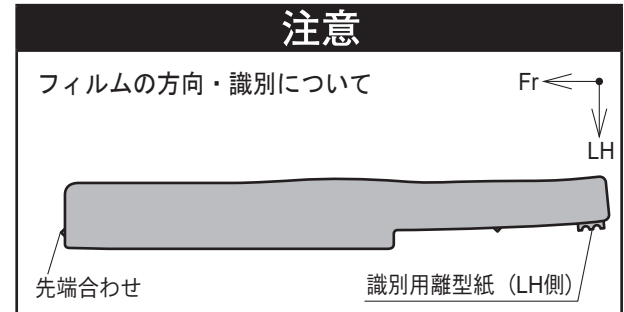


BJLE034H

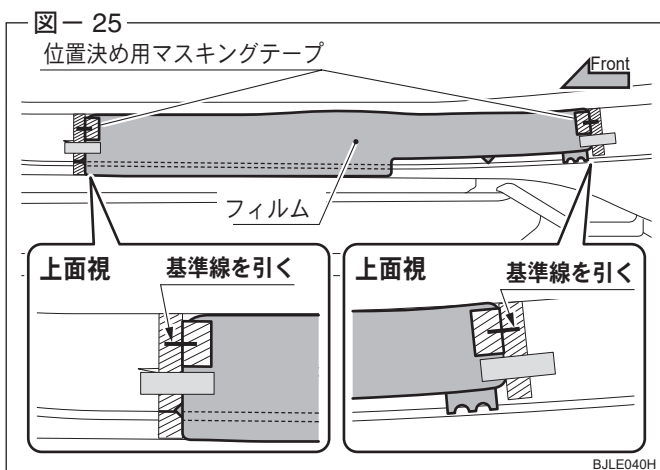
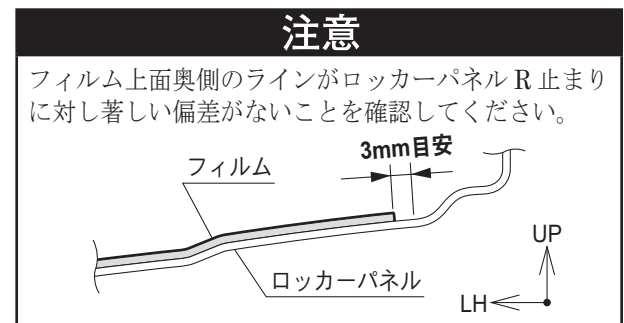
2. 1. で貼った位置決め用マスキングテープ上面のロッカーパネル R 止まり (I-I 断面) に合わせて線を引く。
(図-22 参照)



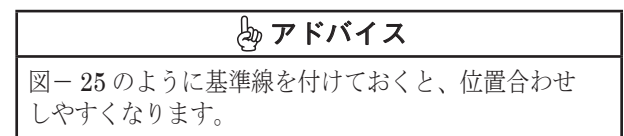
3. フィルムの前端を位置決め用マスキングテープ後端に突き合わせて、仮止め用マスキングテープで仮止める。
この時、フィルムの△先端を位置決め用マスキングテープ上面の線に合わせる。
(図-23 参照)



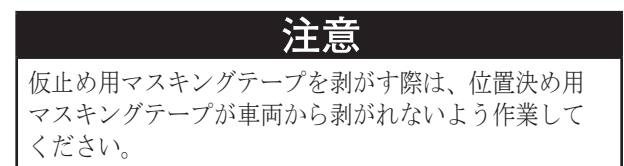
4. フィルムの△先端をロッカーパネル R 止まりに合わせて、フィルム後端に位置決め用マスキングテープを貼り付ける。
5. フィルムの後端を仮止め用マスキングテープで仮止める。
(図-24 参照)



6. 仮止めたフィルムの上に位置決め用マスキングテープを貼り、先に貼った位置決め用マスキングテープと共に一本の基準線を引く。(車両前方、後方共に行う。)
(図-25 参照)



7. 仮止め用マスキングテープを剥がし、フィルムをはずす。



8. 以降、FR, LH と同様の手順で取り付け作業を行ってください。

取付完了後の点検・注意事項

1. 施工液の界面活性剤がフィルム取付面とフィルムの間に残って白くボケて見えることがありますが、約 48 時間程で消える為そのまま放置してください。
2. 一度取り付けたものを剥がすと、伸びたり接着力が低下するので、圧着後は剥がさないでください。
3. 取り付け後 24 時間以内は洗車しないでください。